

証券コード6859

エスペック株式会社

2014年度(2015年3月期)  
決算説明会

2015年5月21日

[www.espec.co.jp](http://www.espec.co.jp)

# 目次

会社概要

2014年度 決算概要

2014年度 セグメント別分析

2015年度 経営計画

2015年度 重点戦略

参考資料

# 会社概要

## 大阪にて創業68周年 環境試験器の業界トップメーカー

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭 (いしだ まさあき)
創業年月日	1947年(昭和22年)7月25日
設立年月日	1954年(昭和29年)1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,338名(連結)
事業内容	環境試験器、エナジーデバイス・半導体・FPD関連装置、植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



本社

(2015年3月31日現在)

# グローバルネットワーク

連結会社 10社  
(海外6社、国内4社)

海外ネットワーク  
43力国33社

国内拠点 26力所  
国内代理店 48社

E U

△ESPEC EUROPE GmbH

- エスペック(株)
- エスペックテストシステム(株)
- エスペック九州(株)
- エスペックミック(株)
- △株ミックファーム大口

日本

※ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.

製品の修理、点検保守、  
校正など技術サポート

- 2015年3月設立
- 2015年7月稼働予定



米国

●ESPEC NORTH AMERICA, INC.

アジア

- 上海愛斯佩克環境設備有限公司
- 愛斯佩克環境儀器(上海)有限公司
- 愛斯佩克試驗儀器(廣東)有限公司
- △愛斯佩克測試科技(上海)有限公司
- ESPEC(CHINA) LIMITED
- ESPEC KOREA CORP.
- △ESPEC SOUTH EAST ASIA SDN.BHD.
- ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.※

- 印…連結会社  
△印…非連結子会社

(2015年3月31日現在)

## 経済産業省 「グローバルニッチトップ企業100選」に選定



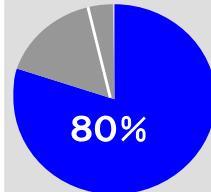
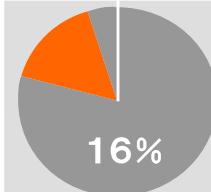
環境試験器  
世界シェア 30%以上



主力製品「恒温恒湿器 プラチナスドシリーズ」

※国際展開に優れ、日本のけん引役となる企業を支援することで  
他の企業の羅針盤となり、国際競争力の向上を目指す経済産業省の取り組み

# 事業概要(各事業の市場／用途)

		主要製品	市場	用途	売上構成比 2014年度	
装置事業	環境試験器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒温恒湿器</li> <li>・冷熱衝撃装置</li> <li>・小型環境試験器</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恒温恒湿室</li> <li>・複合試験機</li> <li>・ハストチャンバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子部品・機器</li> <li>・自動車</li> <li>・半導体</li> <li>・医薬品、化粧品、食品等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R&amp;D</li> <li>・信頼性評価</li> <li>・生産、検査</li> </ul>		
	エナジーデバイス装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次電池充放電サイクル評価装置</li> <li>・二次電池電極乾燥装置</li> <li>・二次電池安全性評価装置</li> <li>・太陽電池評価装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車</li> <li>・二次電池</li> <li>・パワー半導体</li> <li>・燃料電池</li> <li>・太陽電池</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R&amp;D</li> <li>・信頼性評価</li> <li>・安全性評価</li> <li>・生産</li> </ul>		
	半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バーンイン装置</li> <li>・半導体評価装置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計測システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体</li> <li>・自動車</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産、検査</li> <li>・開発、評価</li> </ul>		
	FPD関連装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枚葉式クリーンオープン</li> <li>・低酸素500°Cクリーンオープン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD</li> <li>・有機EL</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産(アニール・ベーク・乾燥)</li> </ul>		
サービス事業	アフターサービス エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターサービス</li> <li>・機器周辺工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子部品、 電子機器</li> </ul>	—		
	受託試験 レンタル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託試験</li> <li>・リセール</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器レンタル</li> <li>・校正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車</li> <li>・半導体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R&amp;D</li> <li>・信頼性評価</li> </ul>		
その他事業	環境エンジニアリング	森づくり、水辺づくり、都市緑化				
	新規事業	植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造				

---

# **2014年度 決算概要**

# 決算総括

■受注高は、すべての事業セグメントが前期比で増加

■売上高は、国内市場・海外市場ともに前期を上回り、前期比で増加

・国内 汎用性の高い標準製品は好調に推移

カスタム製品は好調であった前期の水準には及ばず

・海外 中国・アジアは、輸出が好調、中国子会社も増加

欧米は、欧州への輸出が好調、米国子会社は好調であった前期と同水準

■営業利益は、利益率の高い標準製品が好調であったため、前期比で27.3%増

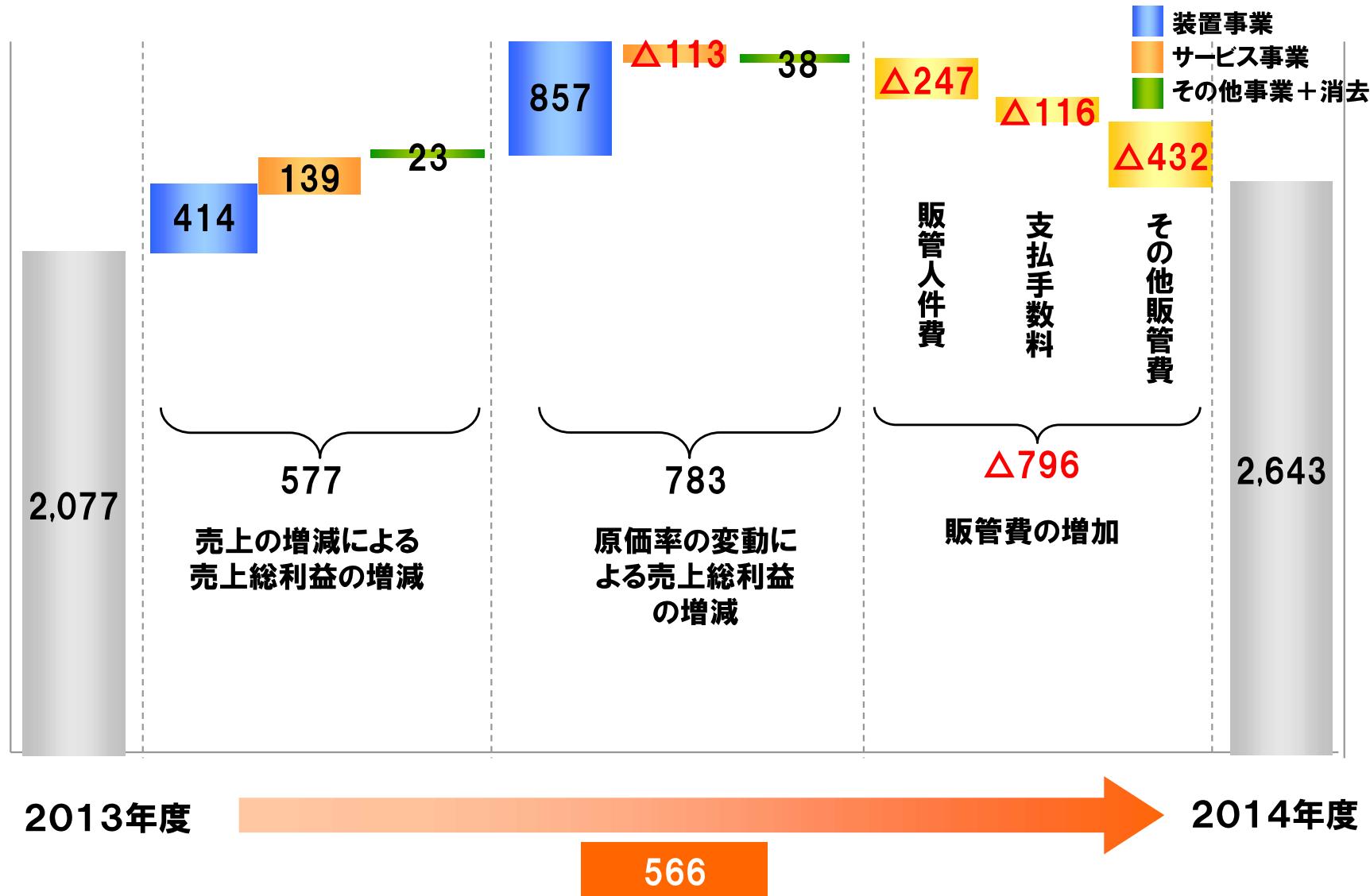
■期末配当金は、期初計画から6円増額し1株当たり19円、年間26円

# 損益の状況

	2013年度	2014年度	(百万円) 前期比
受注高	31, 760	36, 287	14. 3%
売上高	32, 099	33, 661	4. 9%
売上原価 (原価率)	21, 367 (66. 6%)	21, 567 (64. 1%)	0. 9%
売上総利益	10, 731	12, 094	12. 7%
販管費	8, 654	9, 450	9. 2%
営業利益	2, 077	2, 643	27. 3%
経常利益	2, 370	3, 044	28. 5%
当期純利益	1, 570	2, 118	34. 9%

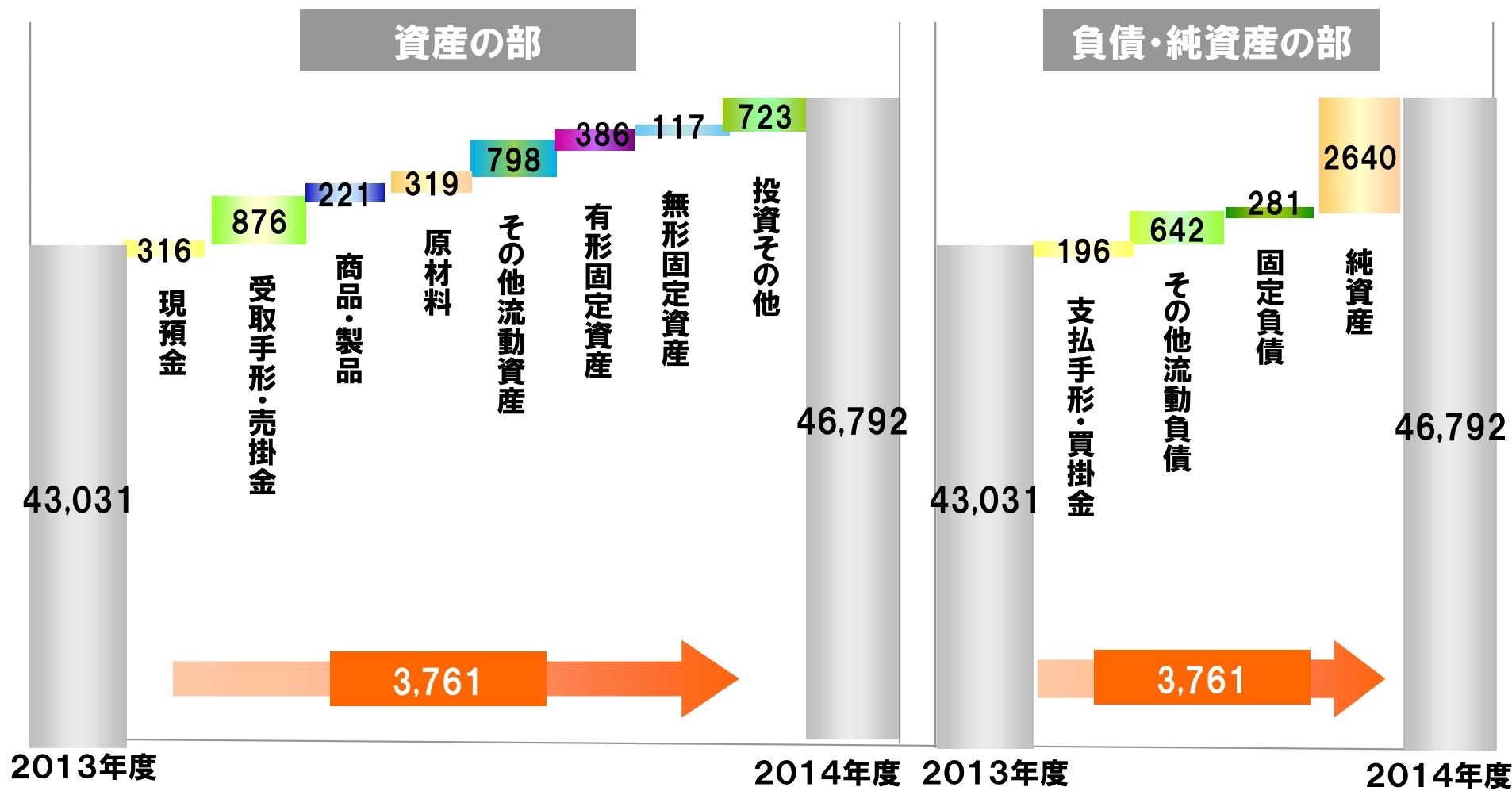
# 営業利益の増減要因分析

(百万円)

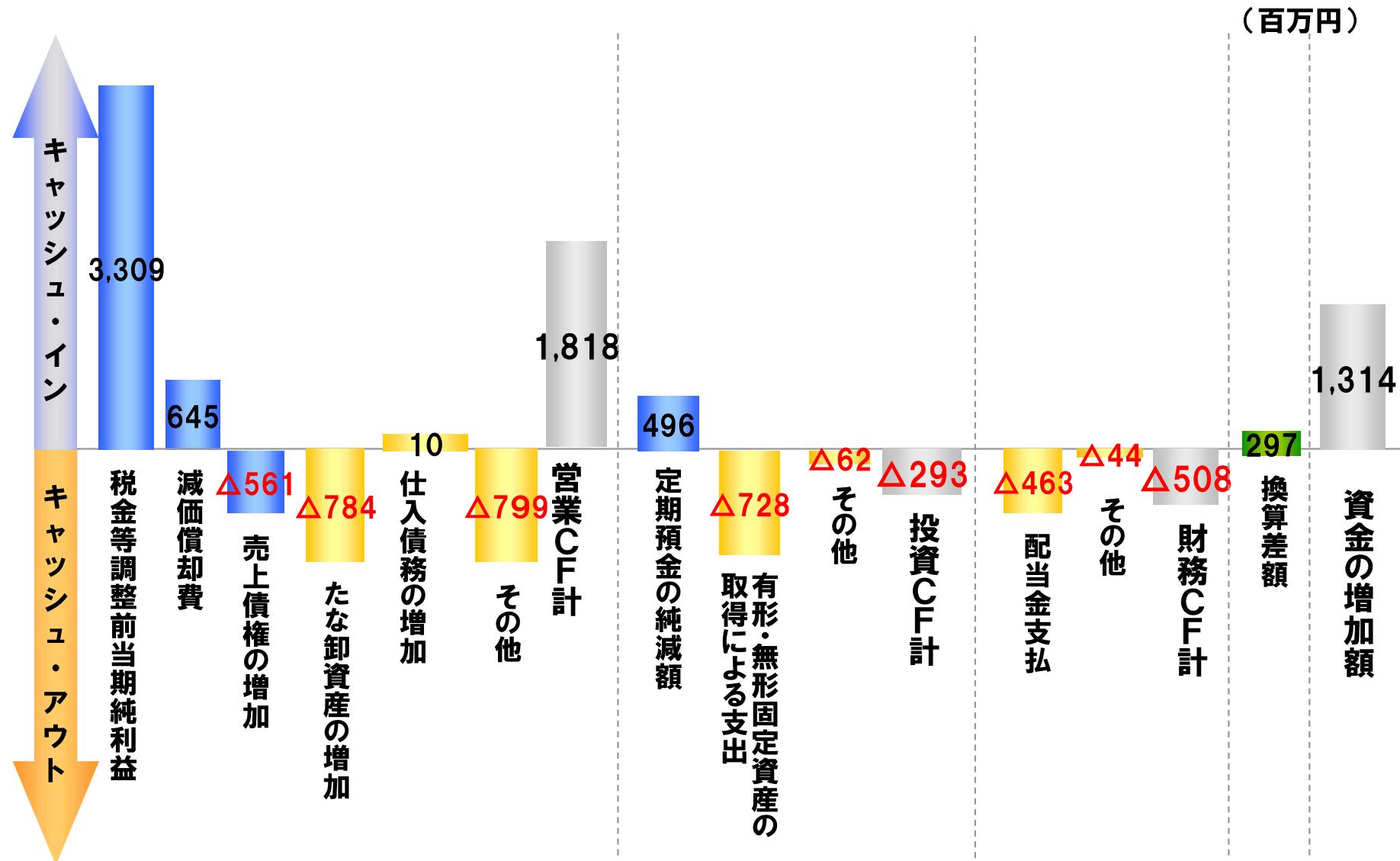


# 資産・負債の増減要因分析

(百万円)



# キャッシュフローの状況



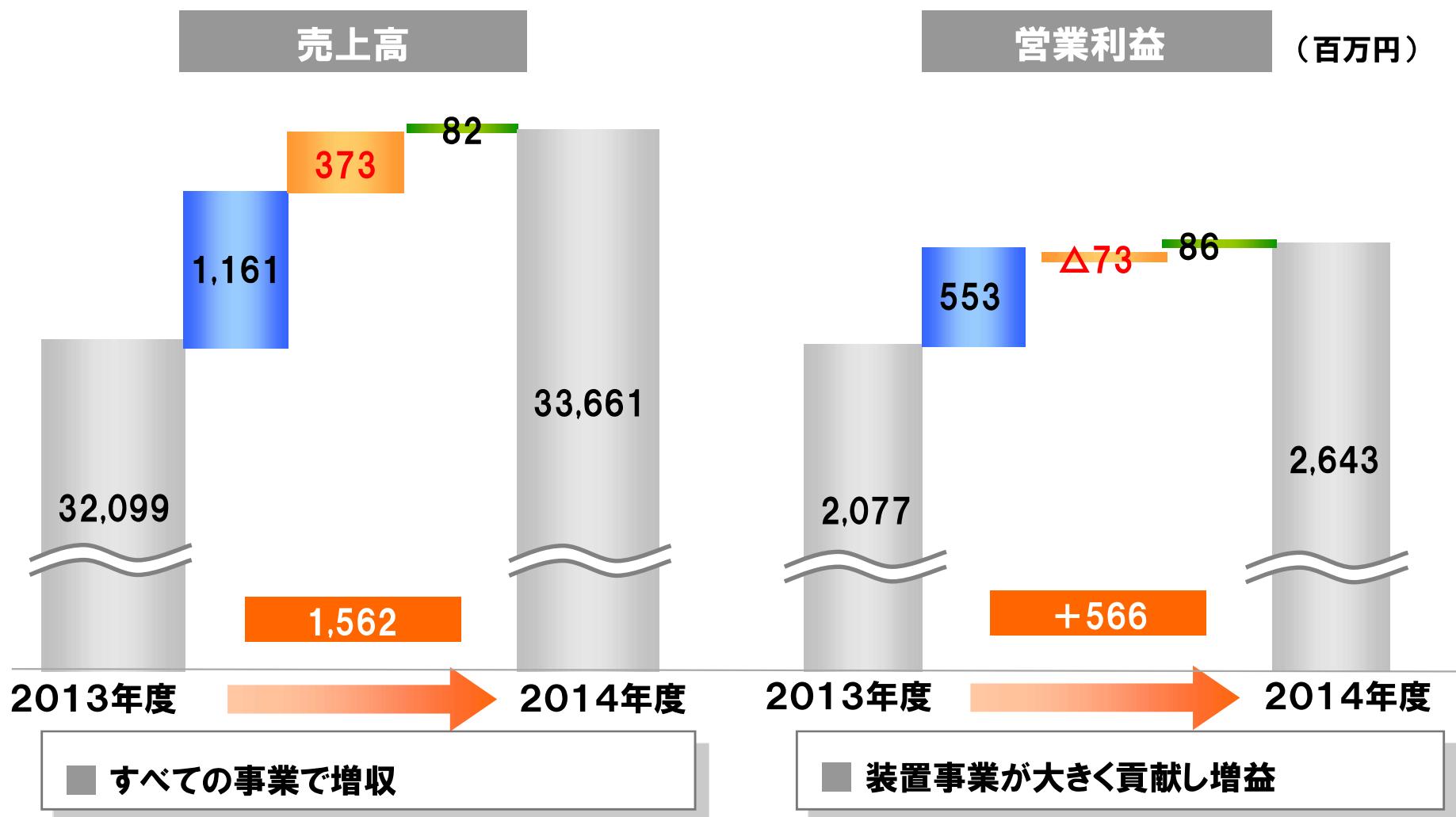
# 2014年度 セグメント別分析

# セグメント別の状況

セグメント			2013年度	2014年度	(百万円) 前期比
装置事業	受注高	25, 271	29, 399	16. 3%	
	売上高	25, 831	26, 992	4. 5%	
	営業利益	1, 625	2, 178	34. 0%	
サービス事業	受注高	5, 288	5, 589	5. 7%	
	売上高	5, 168	5, 541	7. 2%	
	営業利益	504	430	△14. 6%	
その他事業	受注高	1, 375	1, 527	11. 1%	
	売上高	1, 267	1, 350	6. 5%	
	営業利益	△52	34	—	
連結消去	受注高	△174	△227	—	
	売上高	△168	△223	—	
	営業利益	△0	0	—	
計	受注高	31, 760	36, 287	14. 3%	
	売上高	32, 099	33, 661	4. 9%	
	営業利益	2, 077	2, 643	27. 3%	

# 当期実績と前期実績の差異分析

装置事業  
サービス事業  
その他事業



# 装置事業セグメント

## 環境試験器

### ■国内市場の売上高は、増加

- ・汎用性の高い標準製品は、受注高・売上高ともに前期を上回る
- ・カスタム製品は、受注高は前期比で増加したが売上高は前期の水準に及ばず

### ■海外市場の売上高は、増加

- ・中国・アジアへの輸出が好調、中国子会社も増加
- ・欧州への輸出が好調、米国子会社は前期と同水準

### ■受注高・売上高とともに、増加

## エナジーデバイス装置

### ■車載用二次電池の充放電評価装置、安全性試験装置の受注を獲得

### ■パワー半導体の評価装置が堅調に推移し、受注高・売上高とともに、増加

## 半導体関連装置

### ■特定の半導体メーカーや自動車関連メーカーからの受注があったが、受注高は減少、売上高は前期並み

## FPD関連装置

### ■大型案件が少なく、受注高は前期並み、売上高は減少

# 装置事業セグメント

(百万円)

	2013年度	2014年度	前期比
受注高	25, 271	29, 399	16. 3%
売上高	25, 831	26, 992	4. 5%
営業利益 [利益率 (%) ]	1, 625 [6. 3%]	2, 178 [8. 1%]	34. 0%

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2013年度	2014年度	
		前期比	
受注高	5, 288	5, 589	5. 7%
売上高	5, 168	5, 541	7. 2%
営業利益 [利益率 (%) ]	504 [9. 8%]	430 [7. 8%]	△14. 6%

## アフターサービス・エンジニアリング

- 受注高・売上高ともに前期並み

## 受託試験・レンタル

- 自動車市場において主力のテストコンサルティングが好調に推移し、受注高・売上高ともに増加

# その他事業セグメント

(百万円)

	2013年度	2014年度	
			前期比
受注高	1, 375	1, 527	11. 1%
売上高	1, 267	1, 350	6. 5%
営業利益 [利益率 (%) ]	△52 [△4. 1%]	34 [2. 5%]	—

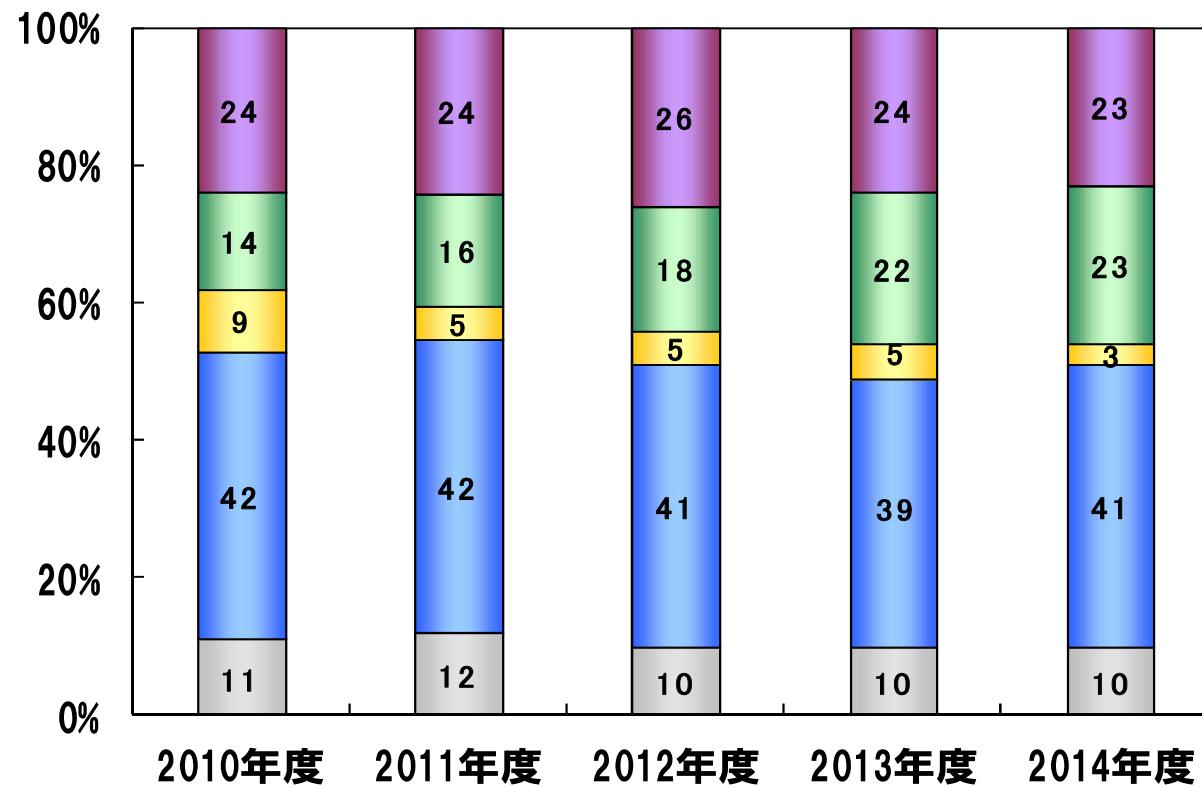
## 環境エンジニアリング・植物工場

- 環境エンジニアリングの森づくりや植物工場事業が堅調に推移
- 受注高・売上高ともに増加、利益面も前期から改善し営業黒字

# 市場別売上構成比

単体(装置事業)

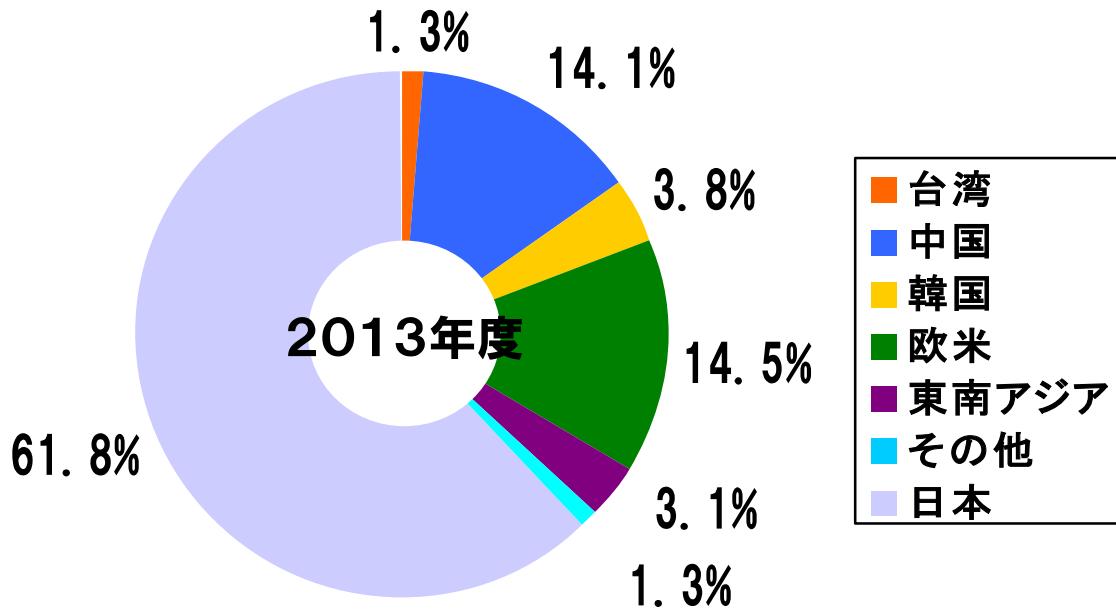
- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



# 地域別売上構成比

2013年度

海外売上高比率:38. 2%

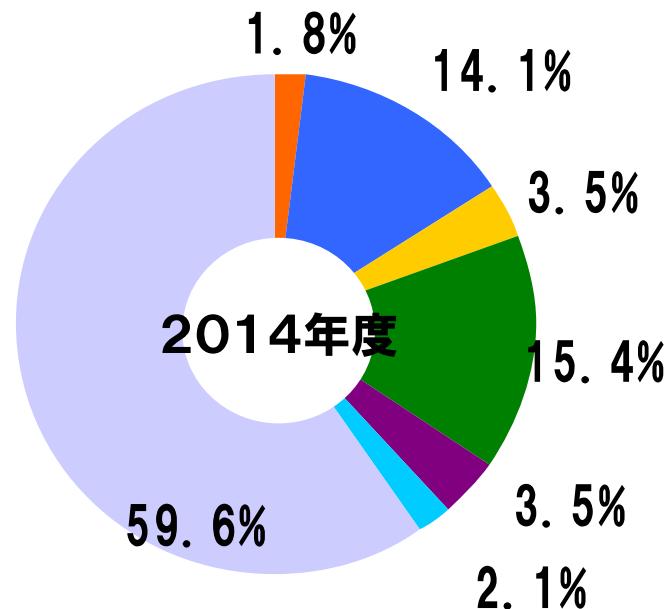


計 32, 099百万円

(海外売上高:12, 252百万円)

2014年度

海外売上高比率:40. 4%



計 33, 661百万円

(海外売上高:13, 609百万円)

---

# 2015年度 経営計画

# 2015年度 連結業績目標

	2014年度 実績	2015年度 目標
売上高	336億円	350億円
営業利益	26億円	28億円
営業利益率	7.9%	8.0%

# 2015年度 通期計画

(百万円)

	2014年度	2015年度			
	通期 実績	計画			
		上期	下期	通期	通期前期比
受注高	36, 287	18, 000	18, 500	36, 500	0. 6%
売上高	33, 661	16, 000	19, 000	35, 000	4. 0%
売上総利益 [利益率 (%) ]	12, 094 (35. 9%)	5, 740 (35. 9%)	6, 660 (35. 1%)	12, 400 (35. 4%)	2. 5%
営業利益 [利益率 (%) ]	2, 643 (7. 9%)	1, 000 (6. 3%)	1, 800 (9. 5%)	2, 800 (8. 0%)	5. 9%
経常利益 [利益率 (%) ]	3, 044 (9. 0%)	1, 100 (6. 9%)	1, 900 (10. 0%)	3, 000 (8. 6%)	△1. 5%
当期純利益 [利益率 (%) ]	2, 118 (6. 3%)	750 (4. 7%)	1, 350 (7. 1%)	2, 100 (6. 0%)	△0. 9%
設備投資額	954	790	570	1, 360	42. 6%
減価償却費	637	392	422	814	27. 8%
研究開発費	1, 013	590	460	1, 050	3. 7%
1株当たり純利益 (円)	91. 19	32. 47	58. 44	90. 91	△0. 3%

# 装置事業セグメント

(百万円)

	2014年度	2015年度			
	通期 実績	計画			
		上期	下期	通期	通期前期比
受注高	29, 399	14, 600	14, 900	29, 500	0. 3%
売上高	26, 992	12, 900	15, 300	28, 200	4. 5%
営業利益 [利益率(%)]	2, 178 [8. 1%]	850 [6. 6%]	1, 450 [9. 5%]	2, 300 [8. 2%]	5. 6%

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2014年度		2015年度 計画		
	通期 実績	上期	下期	通期	前期比
受注高	5, 589	2, 900	3, 100	6, 000	7. 4%
売上高	5, 541	2, 700	3, 100	5, 800	4. 7%
営業利益 [利益率(%)]	430 [7. 8%]	200 [7. 4%]	300 [9. 7%]	500 [8. 6%]	16. 1%

# その他事業セグメント

(百万円)

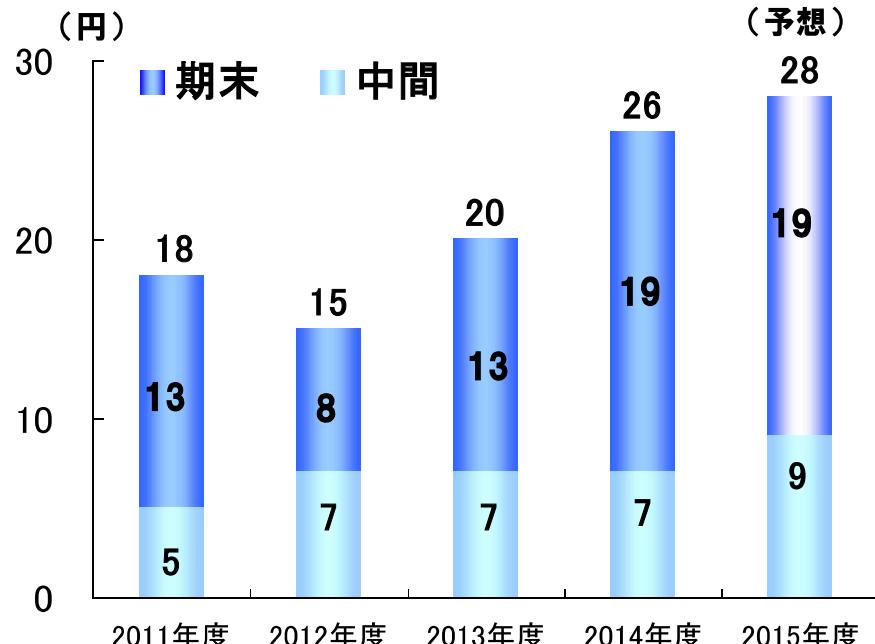
	2014年度		2015年度 計画		
	通期 実績	上期	下期	通期	前期比
受注高	1, 527	600	600	1, 200	△21. 4%
売上高	1, 350	500	700	1, 200	△11. 1%
営業利益 [利益率(%)]	34 [2. 5%]	△ 40 [△8. 0%]	50 [7. 1%]	10 [0. 8%]	△70. 9%

# 配当政策

## 配当方針

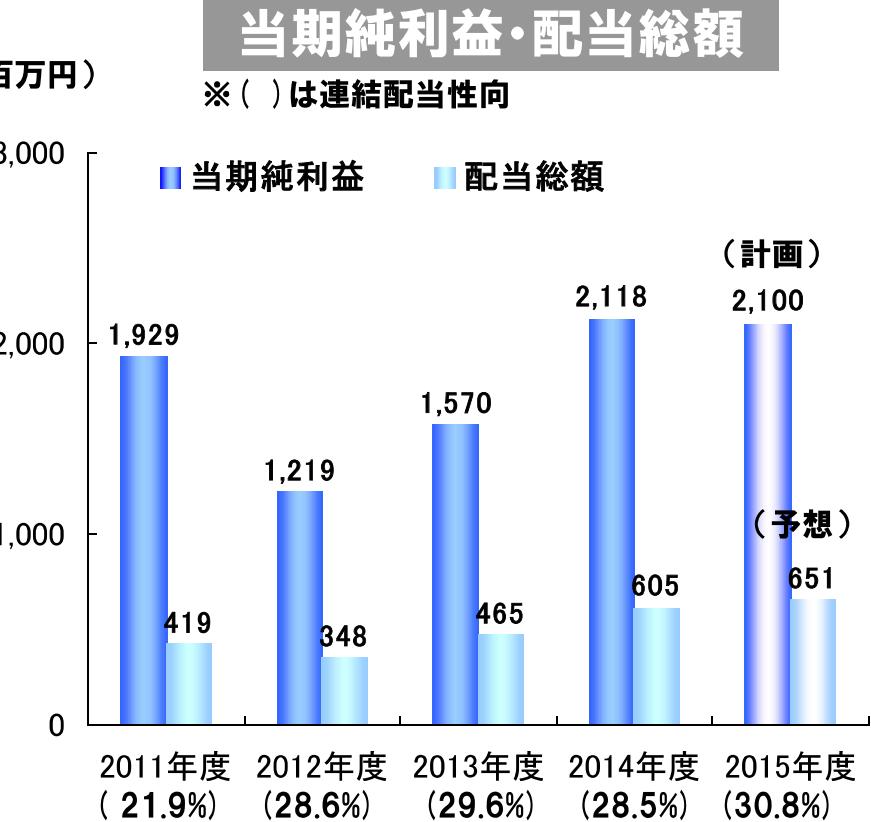
株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

### 一株当たり配当金



### 当期純利益・配当総額

※( )は連結配当性向



# **2015年度 重点戦略**

# 2015年度 重点戦略

## 重点戦略 1

グループ連携の強化による中国・ASEAN諸国を中心とした海外市場での売上拡大

## 重点戦略 2

成長・戦略市場をターゲットとした事業領域の拡大

経営資源の投入

## 重点戦略 3

国内勝ち残りに向けた試験業務の効率化に役立つ総合技術サービスの提供と新製品開発

# 1 – 1 海外市場での売上拡大

## ASEAN諸国



- ★ タイ新会社の技術サポート強化によるASEAN市場の深耕
- ★ タイ新会社において2016年度受託試験サービス開始に向けた準備
- ★ 販売拠点の開設（トルコ）

# 1－2 グローバルサポート

日本人のための、日本語によるテクニカルサポート

2013年～



2015年～



# 1 – 3 海外市場での成長

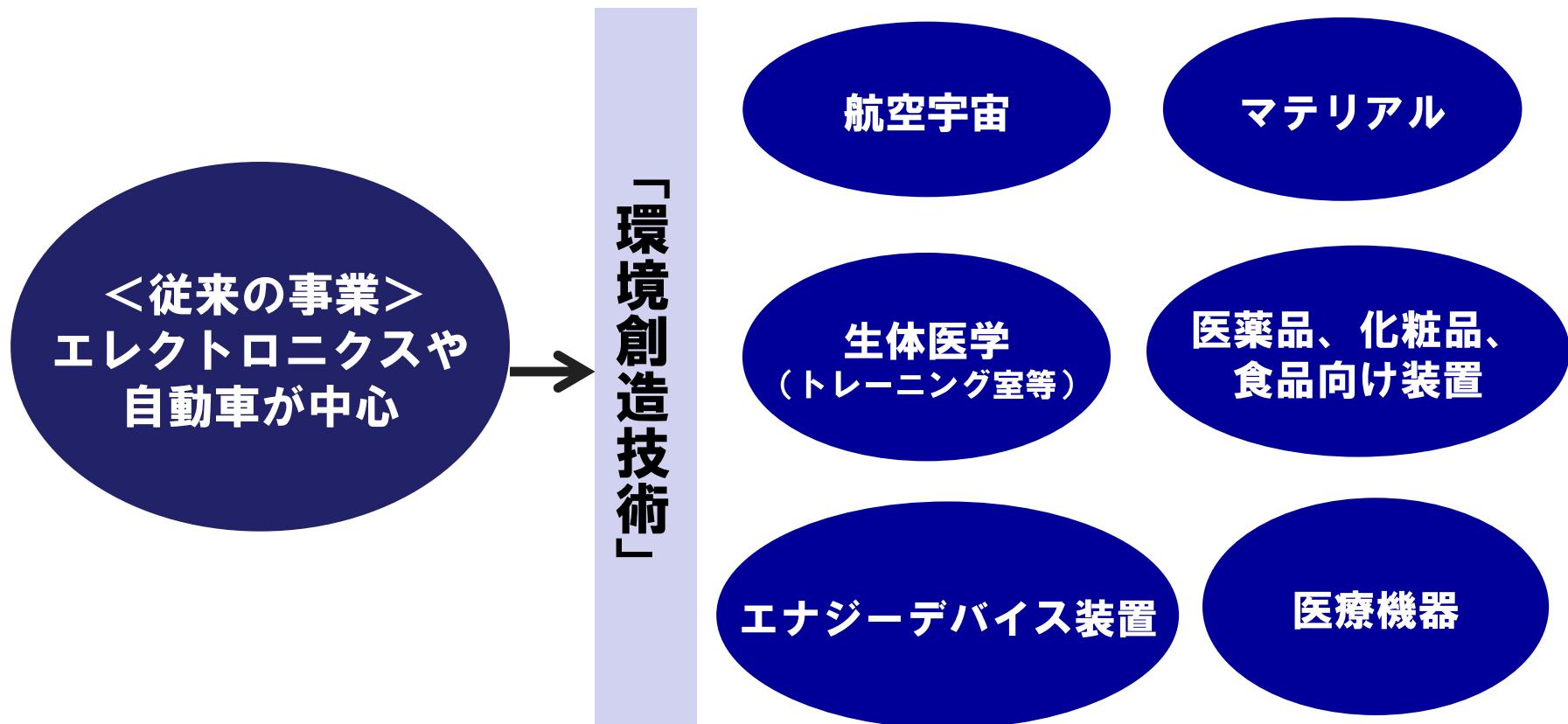
## 中国



★エスペック広東の  
生産能力増強と販売拡大

★販売体制の再構築による販売拡大  
(上海エスペックの完全子会社化)

## 2-1 成長・戦略市場での事業領域の拡大



## 2-2 成長・戦略市場での事業領域の拡大

### エナジーデバイス事業

対象市場：二次電池、パワー半導体、  
燃料電池、太陽電池

- ・二次電池評価装置のラインナップ拡充
- ・受託試験サービスの拡充（豊田）
- ・エナジーデバイス環境試験所の  
受託試験・認証サービスの拡大



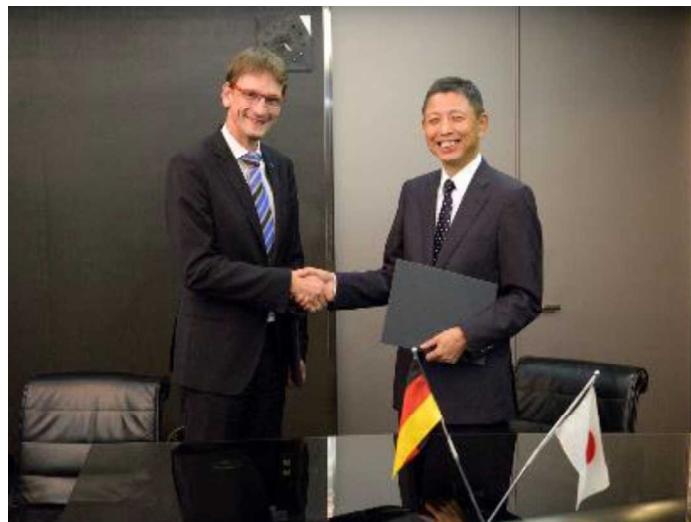
二次電池評価用装置 二次電池安全性試験装置

## 2-3 テュフズードジャパン株式会社と業務提携

当社エナジーデバイス環境試験所で、エコカー用二次電池  
国連協定規則対応の試験・認証サービスをワンストップで提供

契約締結日：2014年10月10日

本格稼働：2015年10月



調印式



エナジーデバイス環境試験所(宇都宮)

## 2-4 成長・戦略市場での事業領域の拡大

### ライフ事業

対象市場：医薬品、化粧品、食品、医療機器

- ・医薬品向け安定性試験器・試験室の販売拡大
- ・食品の保存試験に適した  
低温恒温恒湿器の販売拡大



NEW



安定性試験室

NEW



低温恒温恒湿器

## 2-5 成長・戦略市場での事業領域の拡大

### 航空宇宙関連

- ・カスタム製品の販売拡大
- ・受託試験サービスの充実



圧力をコントロールする恒圧恒温器



圧力+振動+温度変化を再現  
減圧振動複合環境試験装置

### 3 国内 環境試験事業の勝ち残り

#### 顧客価値の向上

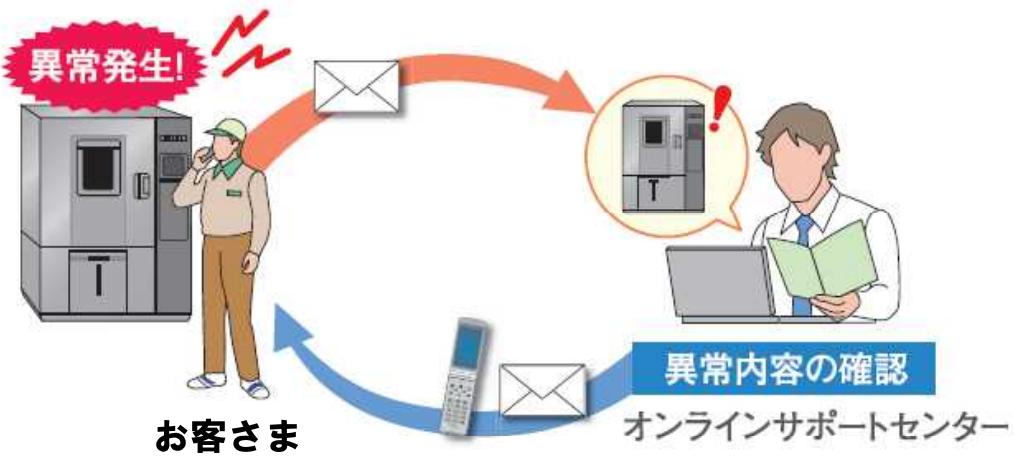
- ・独自の製品・サービスによる競争力の強化
- ・保守契約や点検、校正など総合技術サービスの提供

#### カスタムニーズへの対応

- ・他社との協業などによるカスタム製品の対応範囲の拡大

業界初

**5年保証**  
FIVE-YEARS WARRANTY



業界初

エスペックオンラインサポート

---

Quality is more than a word

ESPEC

**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは  
異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは  
ございません。**

**【お問い合わせ先】**

**エスペック株式会社**

**〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6**

**TEL 06-6358-4744**

**FAX 06-6358-4795**

**e-mail ir-div@espec.jp**

**コーポレートコミュニケーション部**

**部長 西谷 淳子  
IR担当 大川 奈津子**

# 參考資料

# 環境試験の沿革

## 環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<1950年代>  
日本で民生品の環境試験が  
JIS規格化



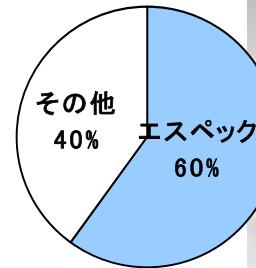
<1970年代・1990年代>  
「信頼性」「品質管理」が製品開発の重要な  
テーマとなり、電子化・電装化の加速に伴い  
需要が飛躍的に拡大



<現在>  
二次電池や太陽電池など  
新エネルギー分野において  
需要が拡大



1961年 日本初の環境試験器を開発



【低温恒温恒湿器 ルシファー】

【恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ】

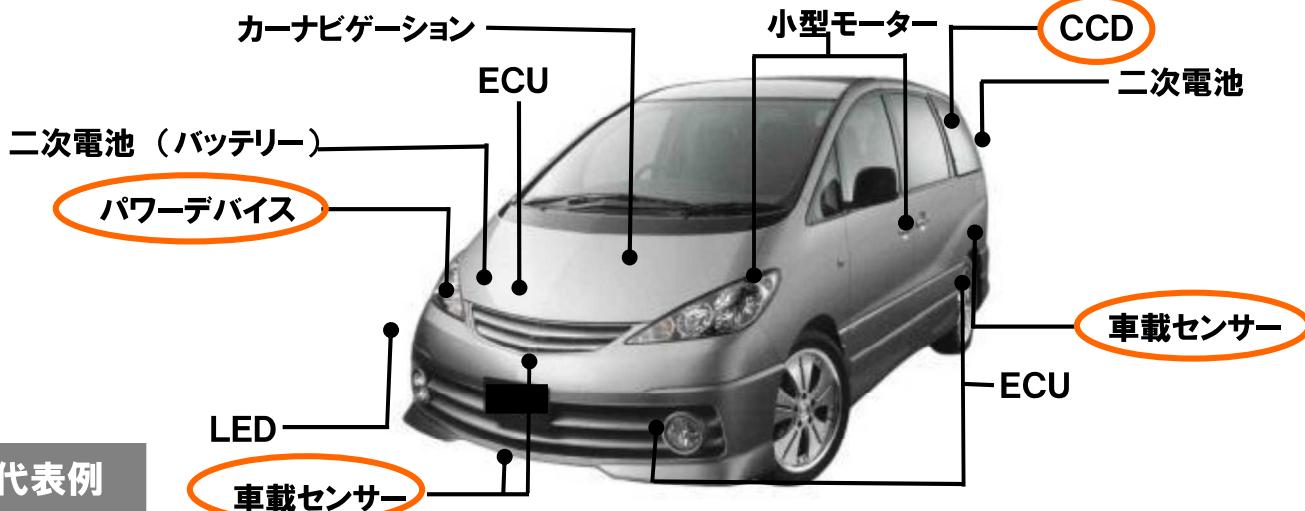
# 事業の変遷

## 環境試験器で培った

## 「環境創造技術」を軸に事業を拡大



# 【装置事業】環境試験器の用途事例



デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}$ 、 $+85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \leftrightarrow \text{RT} \leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}$ 、 $-55^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
		■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\%rh$ 、 $+60^{\circ}\text{C} / 90\%rh$	恒温恒湿器(プラチナス)
	検査	■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\%rh$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$ 、 $-20^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

# 【装置事業】新製品紹介

発売日	製品名	特長
2015年2月	低温恒温恒湿器	・食品の保存試験 ・医薬品・化粧品の長期冷蔵保存試験
2014年11月	冷熱衝撃装置TSAシリーズ	・最新のコントローラーを搭載し、操作性を向上
2014年11月	アドバンストセーフティテスター	・二次電池の3種の安全性試験を1台で実施
2014年11月	アドバンストバッテリーチャンバーNext	・二次電池の充放電試験をより高精度に 温度制御できる恒温槽
2014年7月	ライトスペック恒温恒湿器	・100V／15Aで使用可
2014年7月	小型超低温恒温器ミニサブゼロ	・－85℃から＋180℃を精密制御
2014年5月	安定性試験器／安定性試験室	・国際基準に適合した計9機種をラインナップ
2013年11月	小型環境試験器	・システムアップの行いやすさ ・ネットワークを活用した機能を拡張
2012年12月	アドバンストバッテリーテスター ラインナップを拡充	・二次電池の充放電評価システム ・試験の処理量、試験電流を高める

# 【装置事業】TOPICS

## 「小型環境試験器」が 2014年度グッドデザイン賞を受賞しました

恒温恒湿器プラチナスJシリーズに続き、小型環境試験器もグッドデザイン賞を受賞しました。

ユーザーである研究者やエンジニアが身近に使える環境試験器を実現するために、コンパクトなボディに機能を実装した点や、本体装置と多彩なオプションを統一感を持ってデザインした点が評価されました。



# 【装置事業】 エナジーデバイス装置の用途事例

## 充放電サイクル評価装置

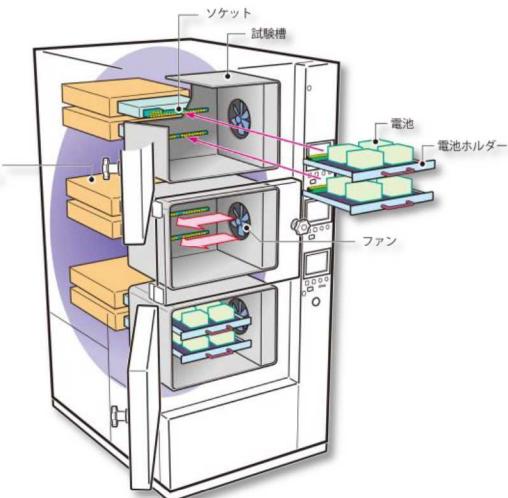
ハイブリッド自動車や電気自動車など次世代自動車に用いられるリチウムイオン二次電池の信頼性や安全性を確保するための装置



二次電池



充放電サイ  
クル負荷



二次電池の充放電特性を確認

充放電サイクル評価装置  
アドバンストバッテリーテスター

二次電池の性能や寿命を評価

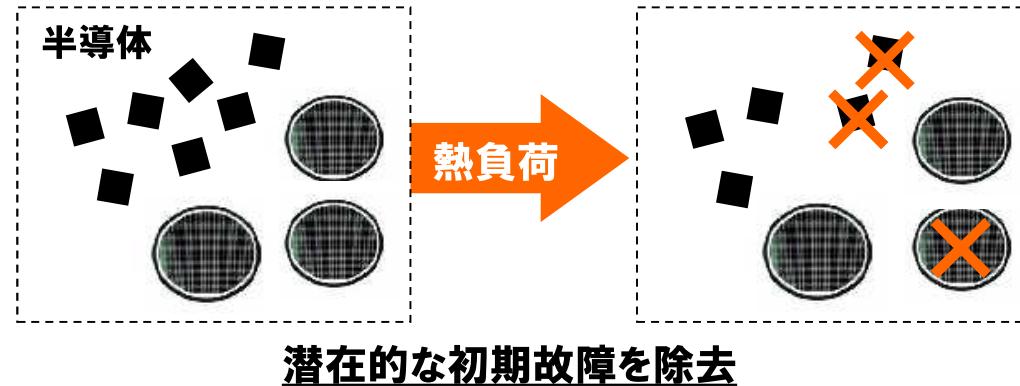
# 【装置事業】半導体関連装置の用途事例

## スクリーニング

半導体デバイス製造の最終検査工程において、不良品を除去し初期品質を確保



バーンインチャンバー



## 信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム

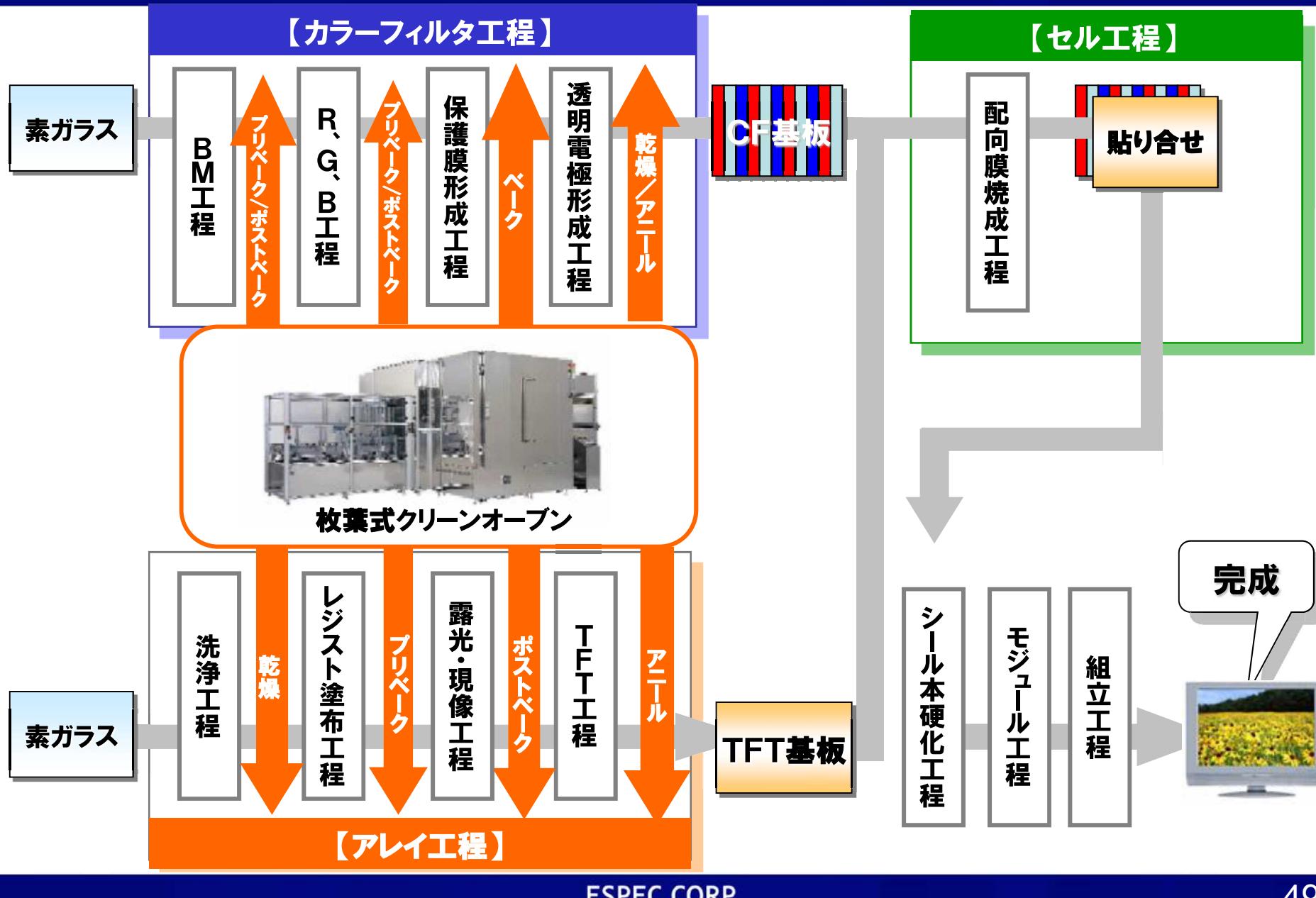


電子部品のはんだ接合部分の信頼性を電気的に評価



はんだ接合部分の不良例

# 【装置事業】FPD関連装置の用途事例



# 【サービス事業】

## アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内No. 1のネットワークによるスピーディな対応
- 業界初のサービス「エスペックオンラインサポート」をスタート
- 世界各国に代理店を構え、海外においても万全の体制でサポート

## 受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 新しい試験ニーズに隨時対応
  - ・業界初「エナジーデバイス環境試験所」を新設  
(二次電池・パワー半導体・太陽電池専用)
  - ・2014年10月、ドイツの第三者試験認証機関  
テュフズードジャパン(株)と車載用二次電池の  
安全性試験・認証サービスについて業務提携

- 全国4ヵ所に受託試験所を設置
  - (宇都宮・豊田・刈谷・神戸)
  - ・ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所
  - ・計量法校正事業者認定制度(JCSS)に基づく校正機関



【エナジーデバイス環境試験所】

# 【サービス事業】TOPICS

## 業界初 「製品5年保証」をスタート

2015年1月、お客さまとの信頼関係をより確かな  
ものにするために、『つながる』『安心』をキーワードに  
5年間の製品無償保証をスタート

### ●対象製品



恒温恒湿器プラチナスJシリーズ



小型環境試験器



冷熱衝撃装置TSAシリーズ

# 【サービス事業】TOPICS

自社開発した世界初の最新設備を導入  
「エナジーデバイス環境試験所」を新設

2013年11月、宇都宮試験所内に新たに開設  
エナジーデバイスの信頼性試験・安全性試験に特化した受託試験所  
(エナジーデバイス:二次電池、パワー半導体、太陽電池)

〈導入設備の例〉



【外部短絡試験機】  
世界初 最大電流24kAに対応



【釘刺し・圧壊試験機】  
セルからパック電池まで対応

# 【その他事業】 環境エンジニアリング

## 環境エンジニアリング

### ■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり



### ■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化

### ■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム



## 植物工場事業

植物の育成に必要な光・温湿度・養分などを最適にコントロールして植物を育てる植物研究・育成システムおよび装置



コンテナ式植物工場



ファイトロン

# 【その他事業】TOPICS

## 被災地の復興に向けて 福島県川内村「川内高原農産物栽培工場」が稼働

2013年3月 エスペックミックが共同納入した完全人工光型植物工場  
農業の再生と雇用の確保に向けて、野菜の生産をスタート

